



# Fieryアカウント

ベストプラクティス、  
考慮事項、詳細手順



# 概要

<b>Fieryアカウントの概要</b>	<b>3</b>
<b>Fieryアカウントに関する基本的な考慮事項</b>	<b>4</b>
個人アカウントと共有アカウントについて	4
1つの会社と複数の会社について	5
Fieryアカウントで開始できる場所について	6
<b>Fiery Software ManagerによるFieryアプリケーションのインストール</b>	<b>10</b>
会社の作成	11
オペレーターの招待	13
「会社」の管理	15
サーバーのFiery IQへの接続	18
「会社」からのサーバーの解除	21
<b>Fieryアカウントのeラーニング</b>	<b>26</b>



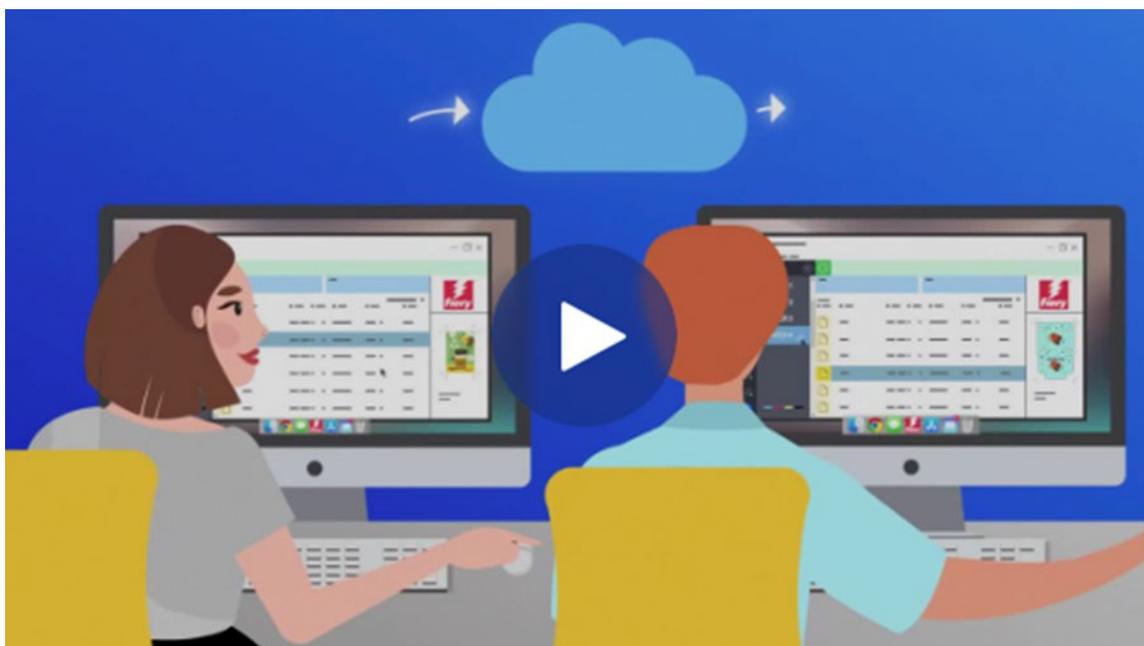
## Fieryアカウントの概要

Fieryアカウントは、Fieryアプリケーションとサービスへの認証とアクセスを行う新しい方法です。

Fieryアカウントには、Fieryアプリケーションをダウンロードしてインストールできる個人情報が含まれるだけでなく、会社との関連付けが新たにできるようになったことから、次のような利点があります。

- Fieryアカウントを会社に関連付けると、ワークスペース設定のバックアップ/復元、マイク্রেディライセンスなどの追加サービスへのアクセス（紛失しないように）や無料のFiery IQアプリケーションの使用、有料Fiery IQアプリケーションの試用、Fiery IQ有料アプリケーションのライセンスのアクティベートや購入ができます。追加できるサービスは、Fieryサーバーの種類によって異なることに注意してください。
- そしてもちろん、将来的には、1つのFieryアカウントで、FieryダウンロードセンターやFiery Communities、Fiery eラーニング、Fiery eStore、Fieryアプリケーションのライセンス取得などに接続できるようにすることを目指しています。

Fieryアカウントのマーケティングビデオ（約2分）を視聴するには、下の画像をクリックしてください。



今後もFieryアカウントのお知らせを随時お送りします。それでは、始めましょう。

## Fieryアカウントに関する基本的な考慮事項

Fieryアカウント、特に「会社」アカウントを作成する前には、次の2つの項目を確認し、Fieryアカウントと「会社」アカウントを使用環境でどのように扱うかを検討してください。

---

### 個人アカウントと共有アカウントについて

ご自身の環境でFieryアカウントを使用するさまざまな方法を見てみましょう。

まず、FieryアカウントはFieryアプリケーションを使用する環境のすべてのメンバーの個人アカウントであることを意図しています。任意の環境にいるオペレーターは、各個人のFieryアカウントを同じ「会社」に関連付けることで、互いに「つながっている」状態になります。「会社」とは、すべてのプリンター、Fiery DFE（デジタルフロントエンド）およびオペレーターが含まれる環境のことを指します。

**問題：**Fieryアカウントは「個人」でなければなりませんか。もしくは、複数のオペレーターでFieryアカウントを共有することは許容されますか？

**回答：**オペレーターごとにFieryアカウントを作成することは多くの利点があることから（現時点では一例として、個々のユーザーを管理するメリット、将来的には、複数のFieryサービスのシングルサインオンとしてFieryアカウントが機能するようになります）**強く**お勧めします。ですが、1つのFieryアカウントでも環境を運営できますし、そのアカウントのログイン情報をオペレーターと共有することも可能です。しかし、パスワードを共有するマイナス面は誰もが知っていることです。

1つのFieryアカウントをごく一部の人と共有するデモやトレーニングの環境では、1つのFieryアカウントが使いやすいこともあるでしょう。もしくは、1人の人が複数のFieryサーバーの設定に責任を有しており、ジョブを完了させるために同時にログインする必要がある場合には役立つでしょう。

Fieryアカウントはこのような状況に対し、1つのFieryアカウントを最大15個のFiery Command WorkStationインスタンスに同時にログインできるようにすることで対応しています。この場合、この同じFieryアカウントで16番目のFiery Command WorkStationを設定するときに、前の15個のインスタンスのいずれかでFieryアカウントからログアウトして別のインスタンスにログインする必要があります。

デモやトレーニングの環境などの特殊な状況以外では、オペレーターごとの個別Fieryアカウントを作成することを強くお勧めします。アカウント作成は迅速、簡単、無料で、わずか数秒で完了できます。すべてのオペレーターを個別のアカウントと個々のロールで「会社」に接続することは、長期的に見れば、より効果的、かつはるかに安全です。

---

## 1つの会社と複数の会社について

「会社」とは、1つのローカル環境または異なるサイトでの複数の環境、場合によっては異なる国を表します。

複数の場所がある場合、大規模な会社1社としてか、または小規模な会社複数社として管理するかどうかを選択する必要があります。それぞれの「会社」は、印刷の各指標を追跡しており、ライセンスなどのリソースは各会社ごとに別々に管理します。Fiery IQにはグループや収集の概念も組み込まれており、ご希望の各種印刷指標を取得できる機能が向上しています。

**問題：**1つの「会社」を作成するべきでしょうか、もしくは複数の「会社」のほうがよいのでしょうか？

**回答：**ほとんどのFieryユーザーは、単一の環境で作業します。よって、特定の環境を代表する1つの「会社」を作成することが選択されるでしょう。

ただし、一部のFieryユーザーや環境のオーナーは、さまざまな場所で複数の環境を管理しています。つまり、同じ町内にあるサイトであったり、異なる地域でつながったビジネスであったり、時には異なる国や大陸の環境や印刷ルームであったりします。Fieryアカウントの構造には、このようなさまざまな可能性に対応する方法が備わっています。

Fieryアカウントの「グローバル」管理者として考慮しなければならない、興味深い例をあげてみましょう。

**オプション1：**すべての環境を「1つとして」追跡

- 「会社」をすべての環境の集合体と考え、それらをまとめて追跡し、（環境の場所に関係なく）リソースを共有し、1つのFieryアカウントと会社だけであらゆる場所で何が起きているのかを把握したい場合は、このオプションをお勧めします。
- この場合も、Fiery IQ内の「グループとコレクション」に環境リソースを整理するオプションがあることに注意してください。
- このオプションを採用する手順：
  - グローバル管理者として、Fieryアカウントを1つ作成します。
  - このFieryアカウントに対する会社アカウントを作成します。
  - 異なる場所を差別化する必要はないので、環境ブランドを「会社」の名前として使用します。
    - 例：「MyPrintShopBrand」
  - すべての環境とサイトのユーザーをこの1つの会社「MyPrintShopBrand」に招待します。

**オプション2：**環境を個別に追跡

- 「会社」は環境（場所）ごとに作成できます。このアプローチでは、すべての環境が互いに分離されることとなります。これらの「会社」は、個々の環境や場所の印刷指標のみを追跡し、他の環境については何も「把握」しません。また、環境間でリソース（ライセンスなど）を共有することもしません。
- このオプションを採用する手順：
  - Fieryアカウントごとに1つの会社を作成します（このタスクは複数の管理者に分ける必要があります）。

- **Fieryアカウント1**：次の会社と関連づけます
  - 「MyPrintShopBrand\_Denver」
- **Fieryアカウント2**：次の会社と関連づけます
  - 「MyPrintShopBrand\_Berlin」
- **Fieryアカウント3**：次の会社と関連づけます
  - 「MyPrintShopBrand\_London」
- 他のアカウントも同様にします。
- これで、各会社に関連付けた個々のFieryアカウントで、各ユーザーをそれぞれの会社に招待できるようになりました。たとえば、あなたはまずFieryアカウント1にサインインして、その後にデンバー環境のユーザーを招待し、ロールを割り当ててから、ベルリンのFieryアカウント2などにも同じことを続けて実行できます。

---

## Fieryアカウントで開始できる場所について

基本となる点について考えてきました。次に、Fieryアカウントを作成するにはどこで始めればよいでしょうか？

ユーザーがFieryアカウントの作成を開始し、これを完了できる場所は複数あります。

ほとんどのユーザーは、Fiery Software ManagerでFieryアプリケーションをダウンロードするときに、Fieryアカウントを作成することでしょう。Fieryアプリケーションをインストールしない場合でも、インターネットへのアクセスだけでコンピューター上にFieryアカウントを作成できます。

Fieryアカウントの作成

- **Fieryアプリケーションの場合**：
  - Fiery Software Manager（推奨開始点）
  - Fiery Command WorkStation 7.0以降
- 任意のコンピューターでインターネットブラウザーを使用する場合：
  - [Fieryアカウント](#) ページ
  - [Fiery IQ](#)

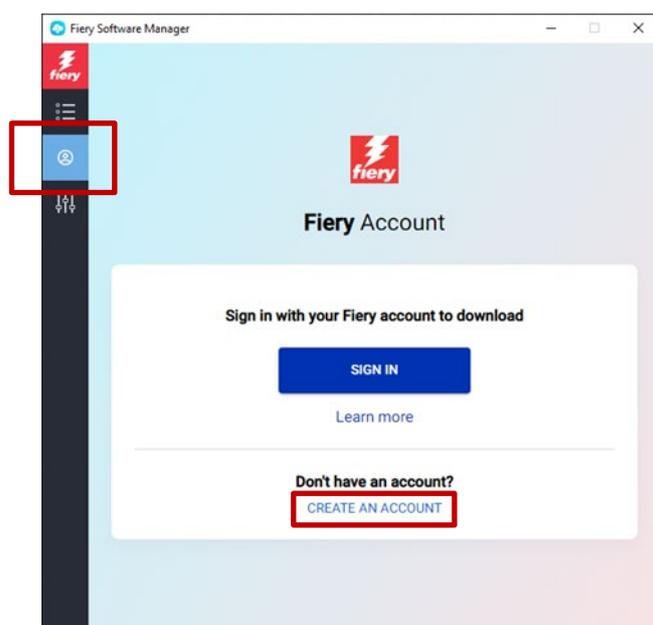
メモ：Fieryアカウントの作成を開始した場所によって、個人情報入力時にその**Fieryアカウント**を会社に関連付けるのを後にするか、もしくは個人情報と会社の情報を追加するようプロンプトが立ち上がってから、作成手順が完了します。

次に、さまざまな開始点についての概要を示します。

Fieryアカウント作成の開始点	個人情報と会社情報
Fiery Software Manager (推奨開始点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報は必須、会社情報はオプション</li> </ul>
Fiery Command WorkStation	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロードする個人情報</li> <li>会社情報は、FieryサーバーのFieryIQへの接続、ワークスペース設定およびメイクレディライセンスのバックアップ/復元、無料Fiery IQアプリケーションへのアクセス、有料Fiery IQアプリケーションのトライアルへのアクセス、そして会社ライセンスで将来的に有料Fiery IQアプリケーションのライセンスを取得し、これを使用するのに必要です。</li> </ul>
<a href="#">Fieryアカウント</a> ページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報は必須、会社情報はオプション</li> </ul>
<a href="#">Fiery IQ</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アカウント作成時に個人情報および会社情報の両方が必須</li> </ul>

アカウント作成のプロセスはとても簡単です。次の手順では、開始点としてFiery Software Managerを使用するワークフローについて説明します。

1. Fiery Software Managerに移動して2番目のタブをクリックし、アカウントの作成をクリックします。

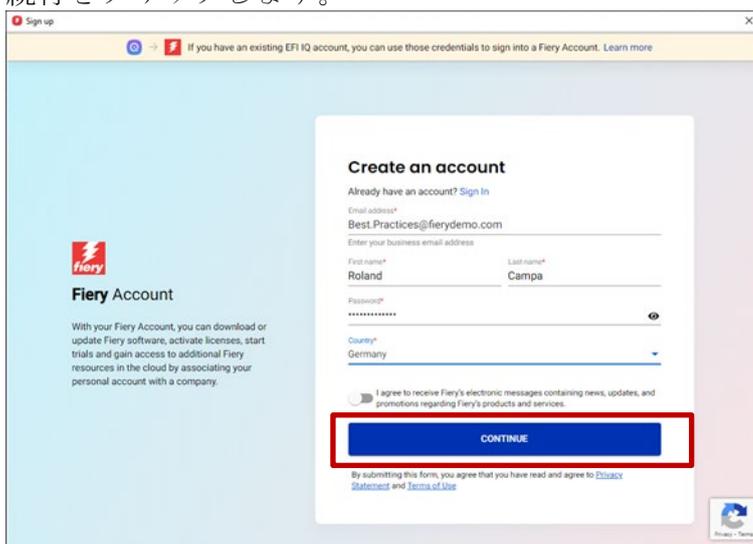


2. 次の情報を入力します。
  - Eメールアドレス

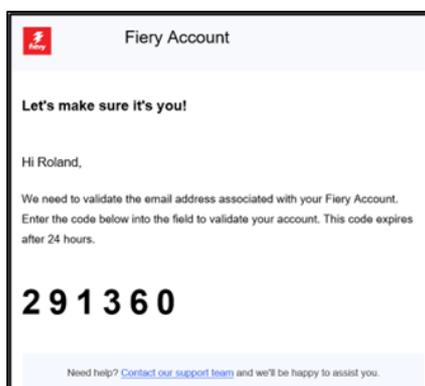
メモ：ビジネス用のEメールアドレス（[my.name@myprintshop.com](mailto:my.name@myprintshop.com)など）をアカウントの作成に使用する必要があります。環境が独自の会社Eメールアドレスではない場合にのみ、一般的なパブリックEメールアドレス（「Gmail」、「Yahoo」、「Hotmail」など）を使用してください。

- 名
- 姓
- パスワード
- 居住国
- スライダーを右に動かすと、Fieryアカウントの最新ニュースをお届けするようお知らせがでますので、よろしければ同意してください。

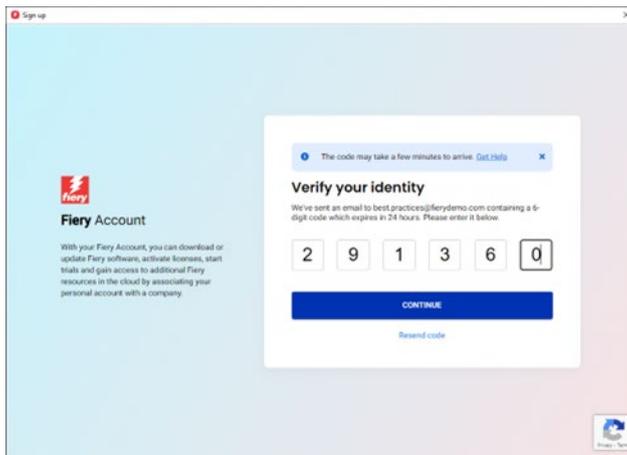
3. 続行をクリックします。



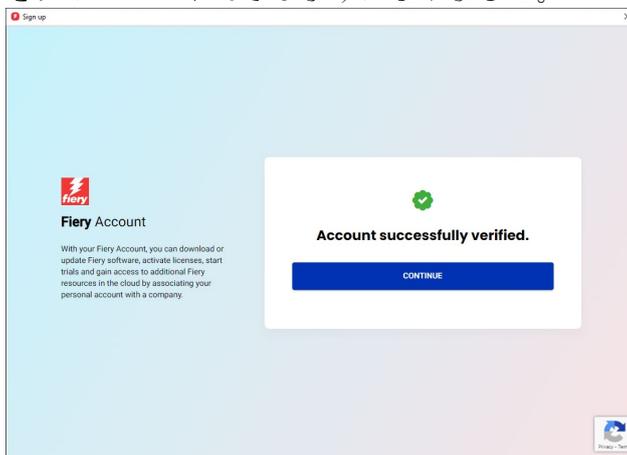
4. 検証コードが記載されたEメールが届きます。



5. Fieryアカウントのユーザーインターフェイスに検証コードを入力し、続行をクリックします。



6. おめでとうございます。Fieryアカウント作成の基本が完了し、Fieryアプリケーションをダウンロードできるようになりました。



# Fiery Software ManagerによるFieryアプリケーションのインストール

Fiery Command WorkStation 7の導入に伴い、Fiery Software Managerから任意のFieryアプリケーションをインストールするには、Fieryアカウントが必要になります。

ユーザーが個々のFieryアカウントを所有し、その個々のFieryアカウントを「会社」に関連付けることには多くの利点がありますが、Fiery Software Managerを介してFieryアプリケーションをダウンロードするのであれば会社を関連づける必要がありません。

ここでは、ロールに応じて考慮すべき事項をいくつか示します。

## 1. 環境のオペレーター/管理者

- 個々のFieryアカウントを作成します。たとえば、Fiery Software Managerの「アカウントを作成」をクリックします。
- Fiery Software Managerで選択したソフトウェアをダウンロードし、インストールします。  
ログインしたままになることに注意してください。システムがリブートされた場合、同じFieryアカウントでログインできます。システムが25日間使用されなかった場合にのみ、ログアウトされます。これは、リブートのたびにオペレーターがサインインしなければならないことを避けるために実装されていました。

## 2. サービス担当者

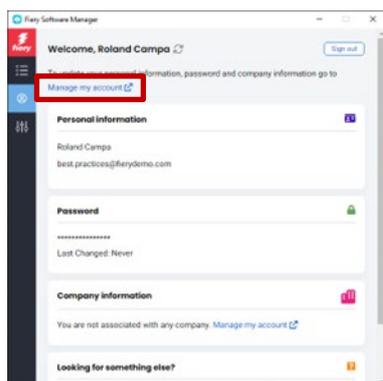
Fieryアプリケーションをダウンロードしてインストールするには、次の3通りの方法があります。

- **推奨**：環境の管理者に連絡し、その人にFieryアカウントを作成してもらいます。これは、オンサイトでのアポイントメントの前に任意のブラウザで[Fieryアカウントのランディングページ](#)に移動して実施することもできます。Fiery Software Managerをダウンロードして開いた後に、Fieryアカウントでログインするように管理者に依頼し、選択したFieryアプリケーションのダウンロードに進みます。
- **代替案1**：[Fieryダウンロードセンター](#)から、目的のFieryアプリケーションをダウンロードします。目的のFieryアプリケーションの最新（または任意の）バージョンをダウンロードできます。このワークフローでは、ダウンロードまたはインストールするためにFieryアカウントにログインする必要はありません。
- **代替案2**：Fiery Software Managerでご自身のFieryアカウント（会社に関連づけないようにしてください）にサインオンし、目的のFieryアプリケーションをダウンロードします。ダウンロードしてインストールした後にFieryアカウントからサインアウトし、ご自身が完了した後に、環境のオペレーターと管理者にそれぞれのFieryアカウントでサインインするよう伝えます。

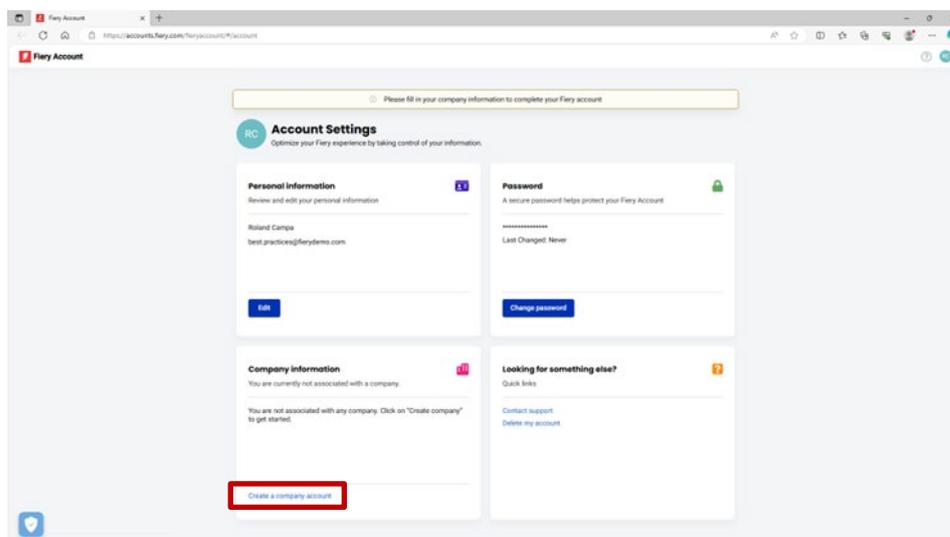
## 会社の作成

「会社」の作成は、環境の管理者のタスクとして残しておくことをお勧めします。環境の管理者として、次の手順に従う必要があります。

1. Fiery Software Managerで個々のFieryアカウントを作成するか、[Fiery IQ](#)または[Fieryアカウント](#)を参照します。
2. Fieryアカウントが起動したら、Fiery Software Managerでマイアカウントの管理をクリックします。

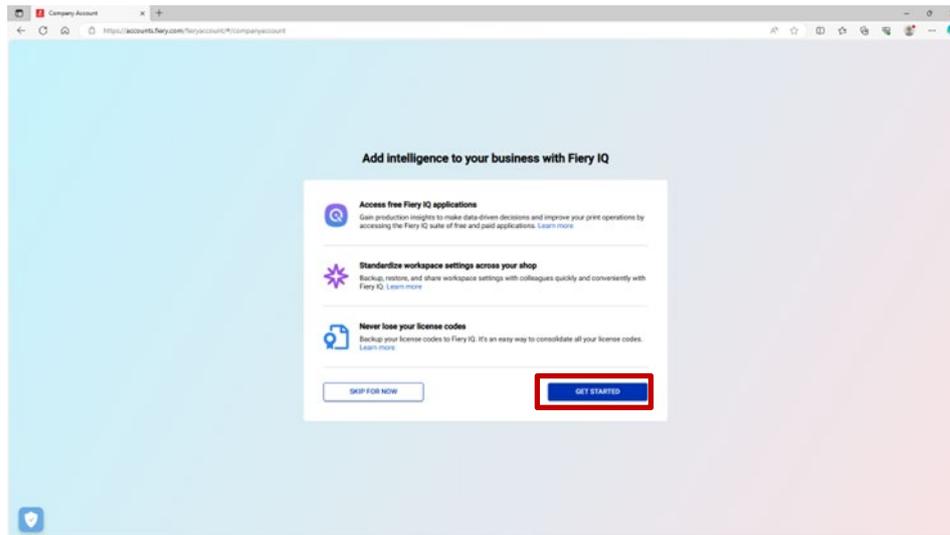


3. Fieryアカウントのブラウザページが開きます。

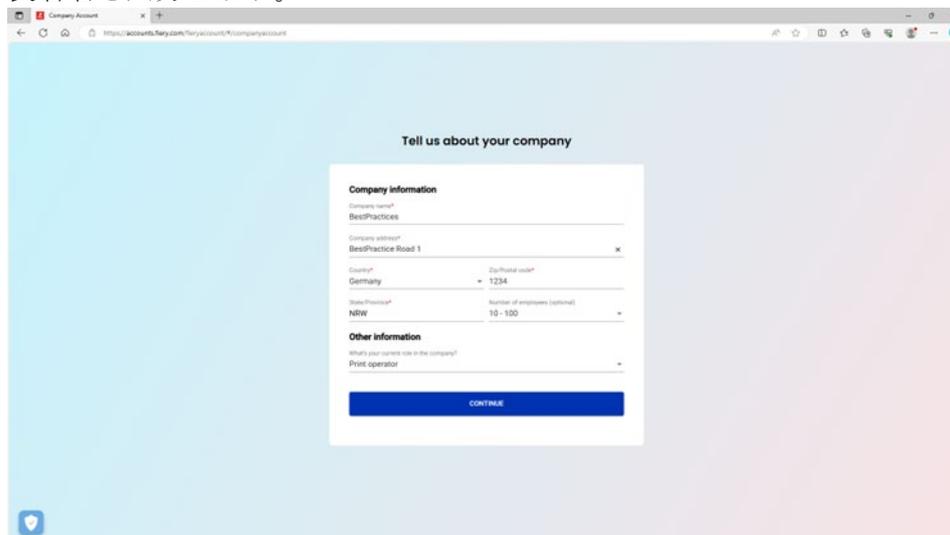


4. 会社のアカウントを作成をクリックします。

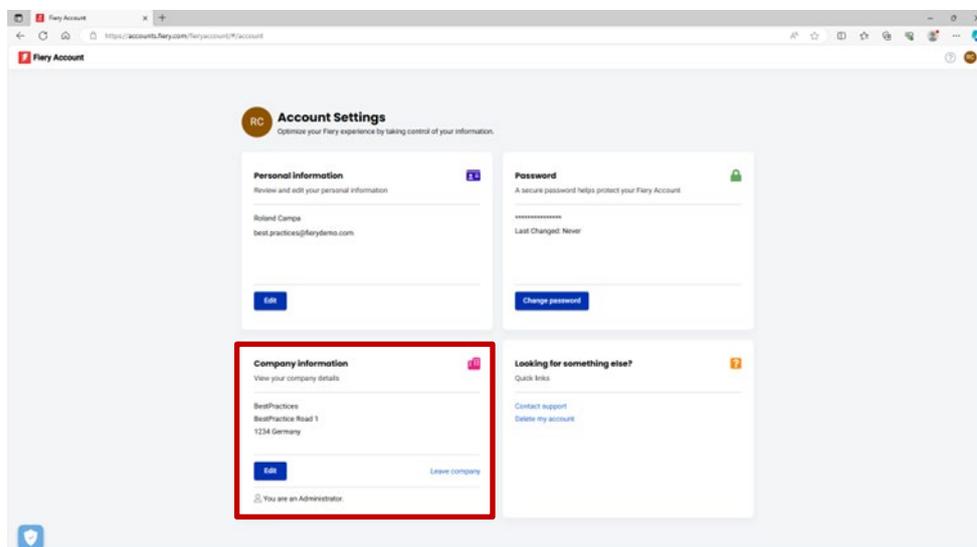
5. 開始をクリックし、画面に表示される指示に従います。



6. 「Fieriアカウントに関する基本的な考慮事項」の章の考慮事項に基づき、「会社」と代表者名を入力します。



7. 「会社」の作成を完了すると、会社がFieriアカウントに関連付けられていることがわかります。



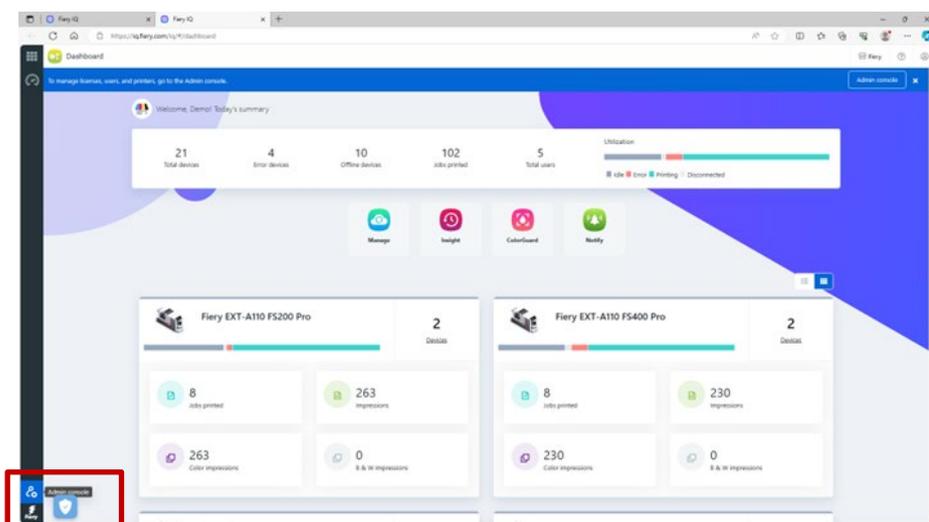
## オペレーターの招待

管理者として、会社に関連するFieryアカウントを作成したところで、作成した会社にオペレーターが「参加」するよう招待することができます。

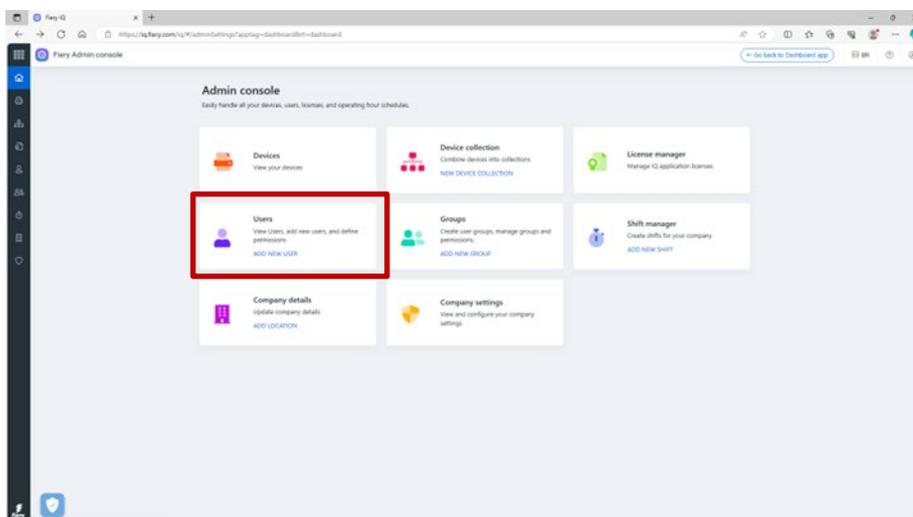
次は考慮すべき点と詳細手順について記載します。

- Fieryアカウントと会社を作成した場合、どのオペレーターを招待するか、オペレーターにどのロールを割り当てるかについてのプランを考える必要があります。新しく作成したFieryアカウントと会社情報を確認するには、Fiery Software Managerの2番目のタブをクリックし、「会社情報」セクションを確認します。
- オペレーターの姓名、Eメールアドレス、そしてオペレーターと関連づけたいロール（管理者、オペレーター、サポート）を記載したメモ程度の書類を作成することをお勧めします。

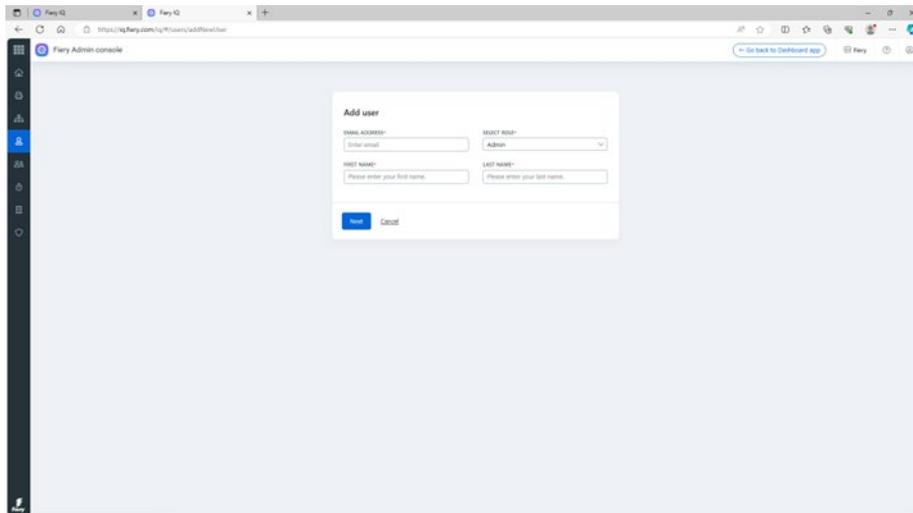
1. ブラウザーでiq.fiery.comに移動します。
2. まだサインインしていない場合は、Fieryアカウントでサインインします。
3. 左下隅にある管理者コンソールアイコンをクリックします。



4. ユーザーカテゴリーのユーザーの新規追加をクリックします。



5. オペレーターごとに姓、名、Eメールアドレス、ターゲットロールを入力し、招待状を送信します。



6. ここでは、2つのユースケースを区別しています。
  - a. 招待されたユーザーが、すでにFieryアカウントをもっている場合、Fieryアカウントは管理者の会社に関連付けられます。ユーザーには確認のEメールが送られ、既存のFieryアカウントからFiery IQにアクセスするためのリンクが知らされます。
  - b. 招待されたユーザーにまだFieryアカウントがない場合、そのユーザーのFieryアカウントは自動的に作成され、その管理者の会社に関連付けられます。招待されたユーザーには、パスワードの設定を求めるEメールが送信されます。この招待は1時間経過すると期限切れになります。パスワードが設定されると、招待されたユーザーは新しいFieryアカウントからFiery IQにアクセスできます。
7. 環境に複数のユーザーがいる場合には、休暇中や病気のととき、忙しいときなどでも、管理タスクを実行できるように、環境に少なくとももう1人管理者を設定することを強くお勧めします。上記のように、招待時に任意のユーザーに「管理者」ロールを選択することで、これを行うことができます。1つの環境で必要な数の管理者を使用できます。

## 「会社」の管理

「会社」を取り扱う際にミスが発生する可能性は常に存在します。オペレーターがすでに会社を作成しており、招待が間に合わなかったかもしれません。あるいは、管理者として「会社」を作成し、「MyPrintShop」というラベルを付けたのにもかかわらず、「MyPrintShop Incorporated」というラベルを付けたいと思ったかもしれません。

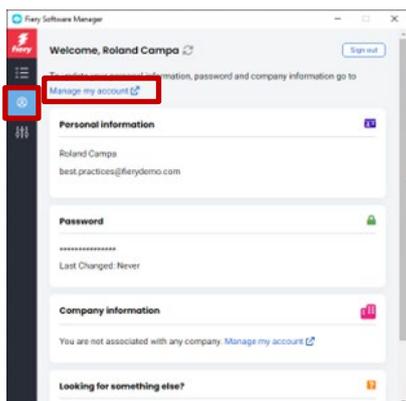
幸いにも、いくつかのツールがFieryアカウントに追加されたので、このアカウントを使用すると、ヘルプを必要とすることなく、これらの状況を解決できます。

それでは、各状況を見てみましょう。

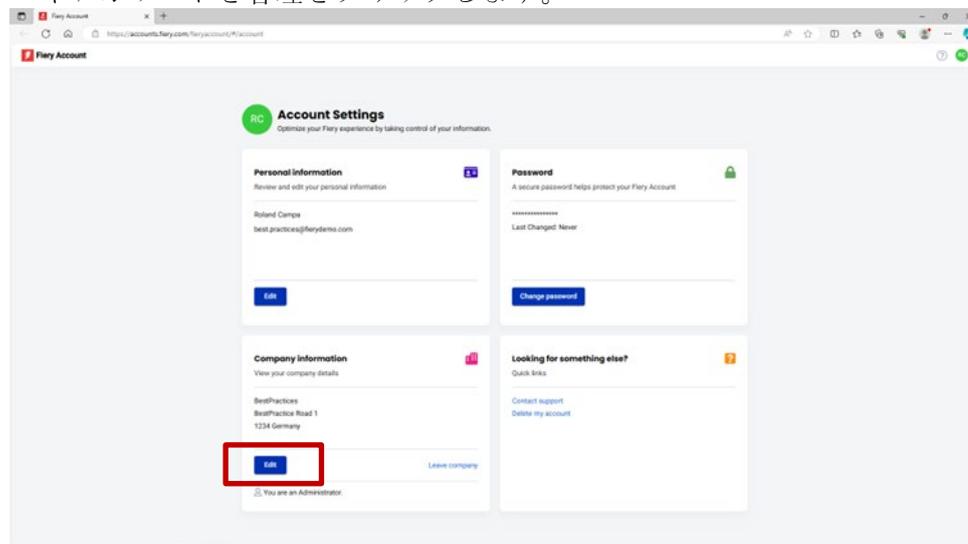
**問題：**社名、住所、ZIP/郵便番号などでタイプミスがあるか、誤った国を選択してしまいました。どうしたらよいでしょう？

**回答：**次の手順で会社情報を編集できます。

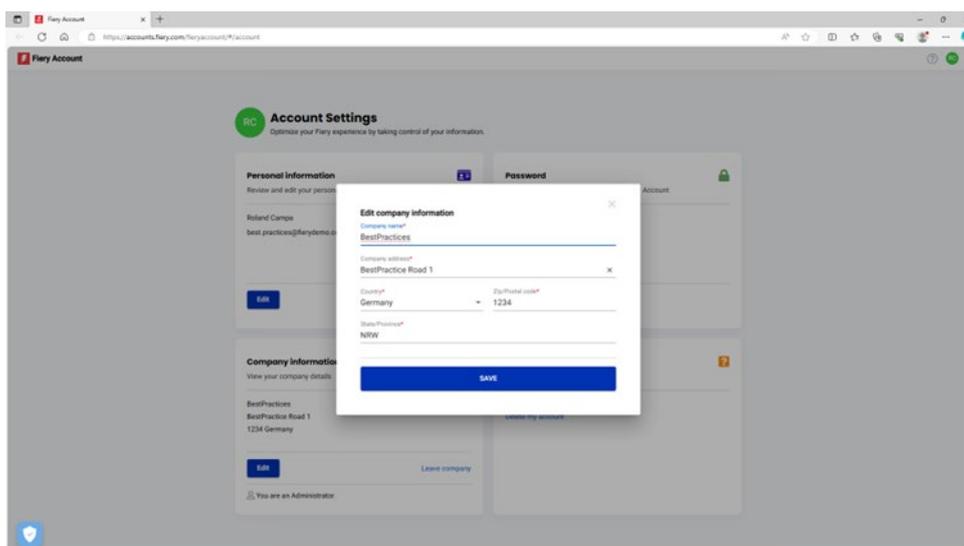
1. Fiery Software Managerに移動（あるいは、[Fiery IQ](#)または[Fieryアカウント](#)にアクセス）して、2番目のタブをクリックします。



2. マイアカウントを管理をクリックします。



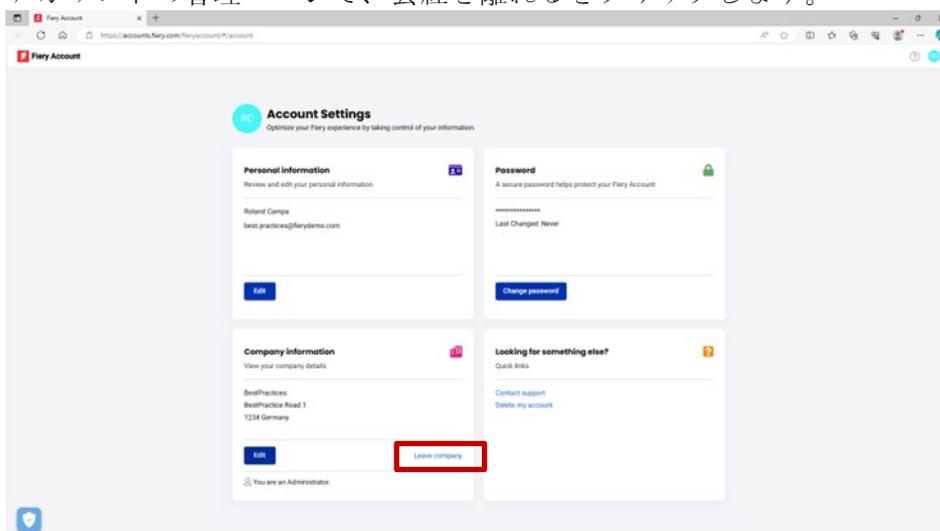
3. 編集をクリックして任意の会社情報を変更し、保存をクリックします。



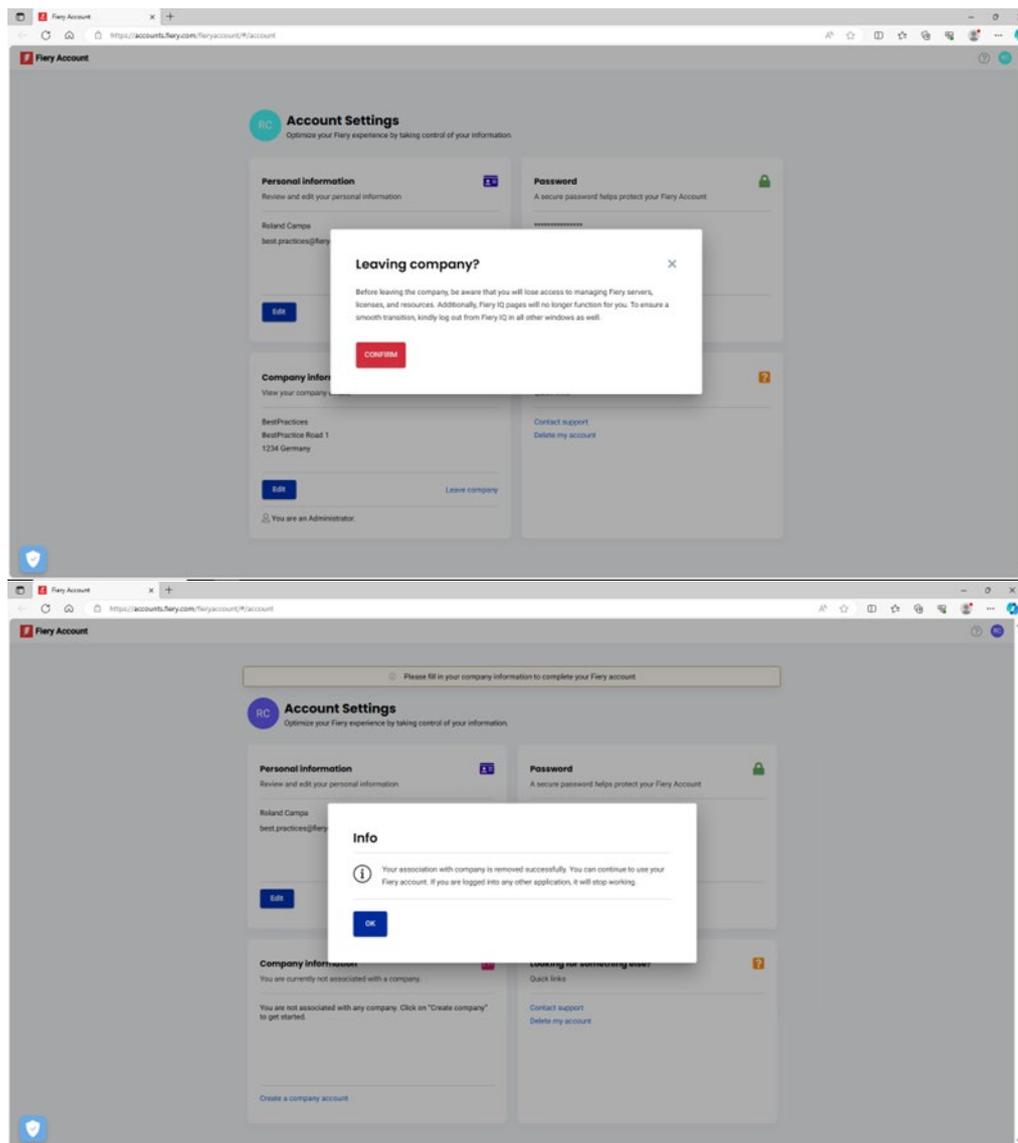
**問題：** 違う会社に誤って参加してしまいました。どのように修正できますか？

**答え：** 次の手順で会社から離れることができます。

1. アカウントの管理ページで、会社を離れるをクリックします。



2. 画面の指示に従い、確認をクリックします。



3. これで、目的の会社に参加できます。

**問題：**環境に対する会社が作成済みだと知る前に、会社を作成してしまいました。この作成してしまった会社を削除したいと思います。削除方法を教えてください。

**回答：**前の質問に対する答えに手順に従って、会社を離れることができます。削除する必要はありません。

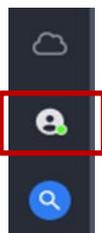
## サーバーのFiery IQへの接続

Fieryアカウントを作成して会社と関連づけたら、特に無料でその多くが利用できることから、Fiery IQにある一連のクラウドアプリケーションやサービスを利用したいと思うのではないのでしょうか。

ワークスペース設定やマイクレディライセンスのバックアップ/復元、無料のFiery IQアプリケーションへのアクセス、有料のFiery IQアプリケーションの試用、Fiery IQ有料アプリケーションを会社ライセンスで使用するには、サーバーがFiery IQに**接続**されている必要があります。

Fiery IQにサーバーを接続する前に、**管理者権限**にてFiery Command WorkStationにログインしていることを確認してください。この手順に従っていなかった場合、後でサーバーに接続しようとする、ユーザーインターフェイスに警告が表示されます。

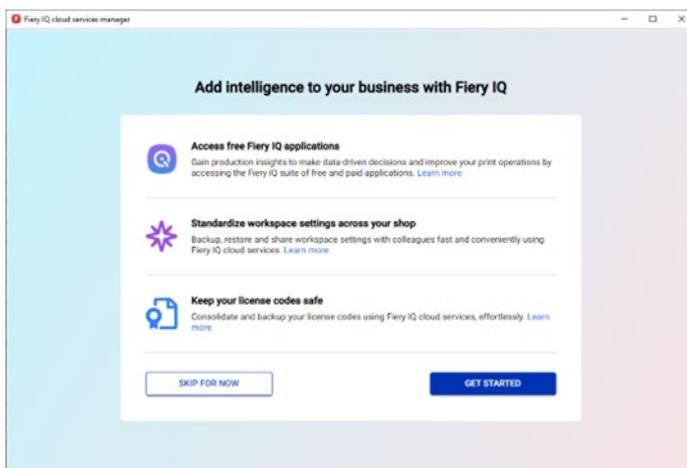
Fiery Command WorkStation内でFieryアカウントにサインオンしている場合は、アカウントアイコンに緑色のドットが表示されます。



Fieryアカウントアイコンの上にクラウドアイコンが表示されますが、このアイコンは少なくともプリンターを1台Fiery IQに接続し、ライセンス1つバックアップしないと緑色のドットを表示しません。このアカウントアイコンは、サーバーを接続するための開始点としても機能します。



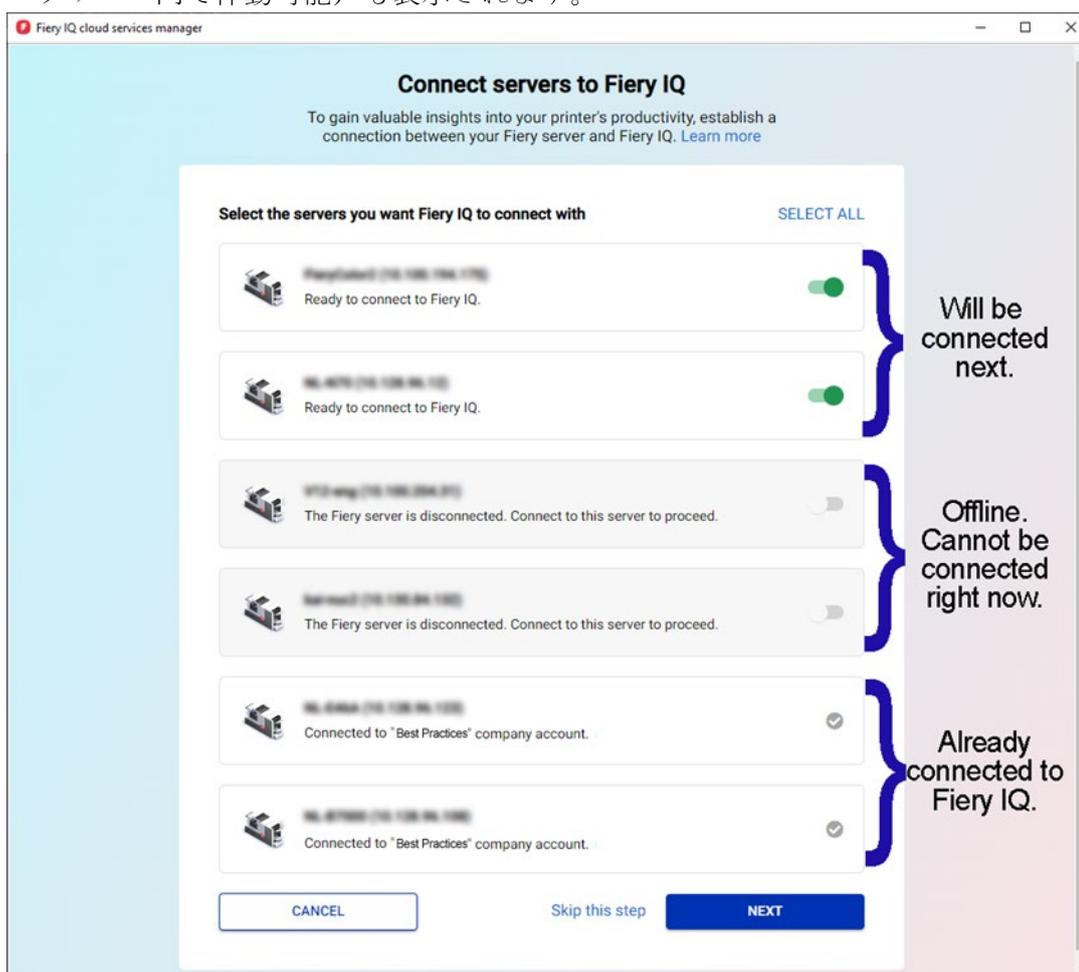
Fieryカット紙サーバーとFiery IQの接続が劇的に簡素化されたことから、Fiery Command WorkStation 7以降では、クラウドアイコンをクリックするだけで以下の画面が開きます。



1. 開始をクリックします。

次のスクリーンショットでは、Fiery Command WorkStationに接続されているすべてのサーバーのリストが表示されています。スライダーを右に移動して「緑」にするだけで、Fiery IQに接続するサーバーを選択できます。

ユーザーインターフェイスでは、すでに接続されているサーバー、現在オフラインのサーバー、現状では接続できないサーバー、アップデートが必要なサーバー（このワークフロー内で作動可能）も表示されます。



2. 次へをクリックし、画面に表示される指示に従います。  
接続しているサーバータイプに応じて、接続を数分で確立できるものもあれば、接続する前にまずサーバーパッチをインストールしてサーバーをリブートする必要があるものもあります。

ユーザーインターフェイスでは、これらのすべてのアクションを開始し、サーバーが最終的に接続されるまでフィードバックを提供します。

## 「会社」からのサーバーの解除

Fiery IQでFieryアカウントを介してサーバーを接続して環境のリソースとしてこれまで使用していたが、その会社からサーバーを解除したいというシナリオを検討してみましょう。

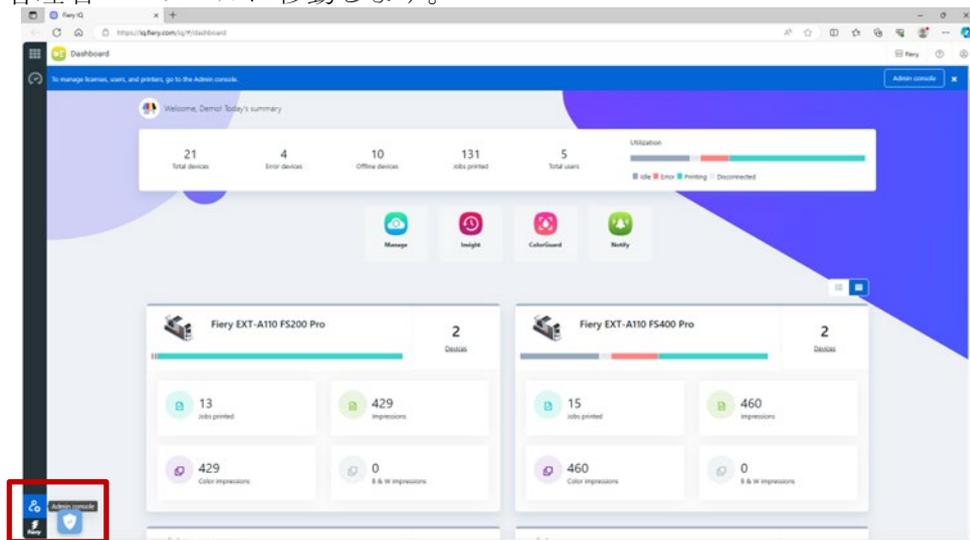
その理由として考えられるのは、サーバーとプリンターを他の人に売却し、その人がその会社にプリンターを追加したいと考えたり、プリンターが寿命に到達したため、そのプリンターを環境から取り除き、代わりに別のサーバーとプリンターを追跡したい場合などがあるでしょう。

次の2つの手順で会社からサーバーを解除することを推奨します。

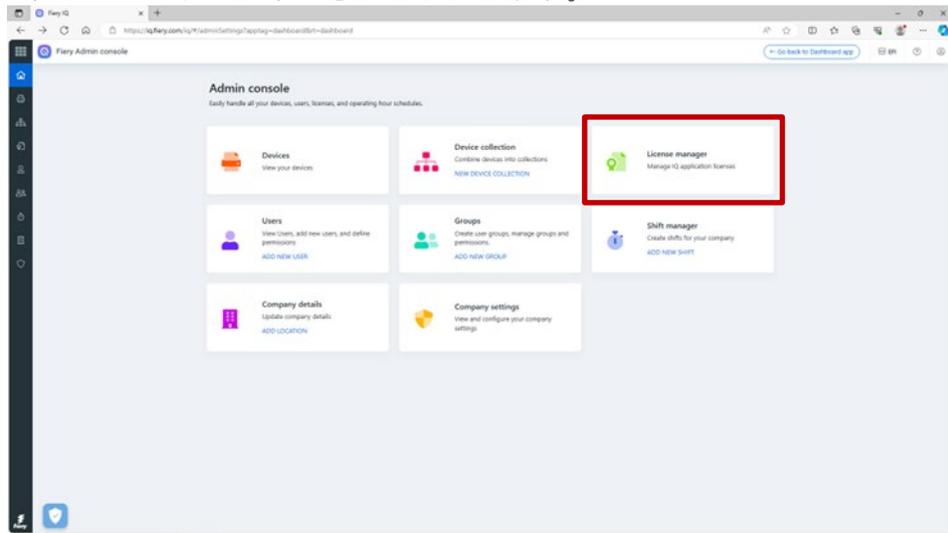
**手順1**：解除するサーバーに関連するライセンスを確認します。

サーバーに関連付けられているライセンスまたはサブスクリプションがある場合は、そのサーバーを解除する前に、まずライセンスを解除してそのライセンスやサブスクリプションを別のサーバーで使用できるようにしてください。この手順を実施していないと、ライセンスを再取得するためにFieryサポートに連絡する必要があります。

1. Fiery IQ (iq.fiery.com) にサインオンし、Fieryアカウントで認証します。
2. 管理者コンソールに移動します。



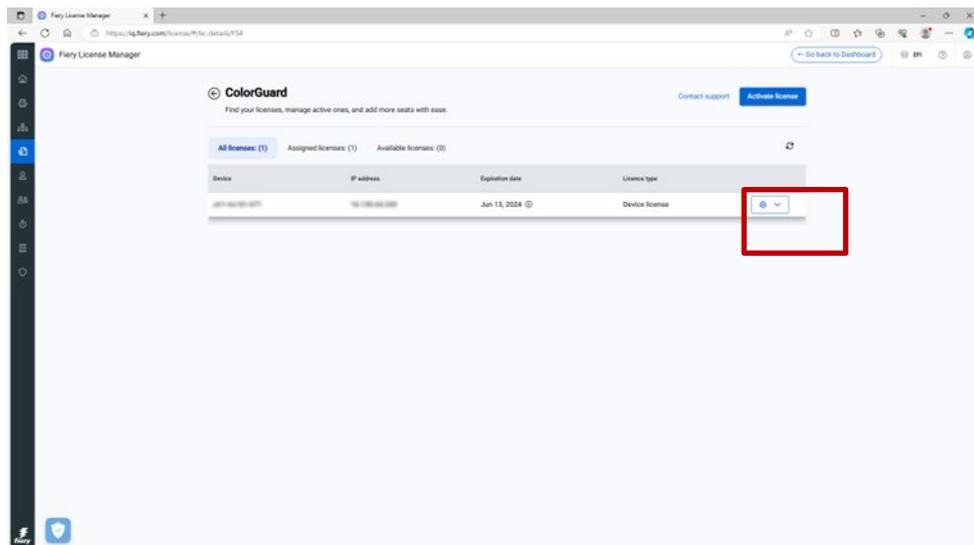
3. ライセンスマネージャーをクリックします。



所有しているライセンス製品を確認します。次の例では、Fiery ColorGuardライセンスのみアクティベートされています。



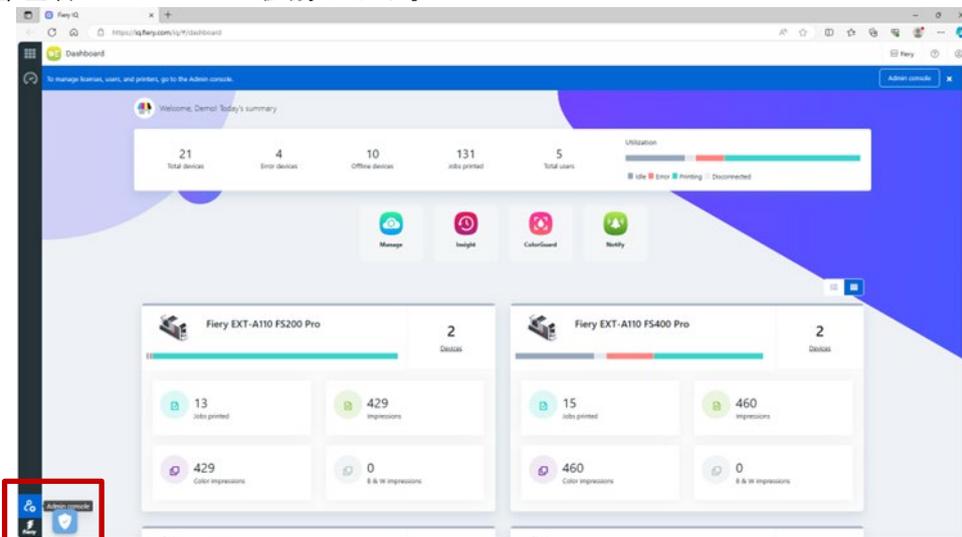
4. 管理をクリックします。  
解除するサーバーが現在なんらかのライセンスに関連付けられている場合は、該当する行の最後にあるこのライセンスをリリースするをクリックします。



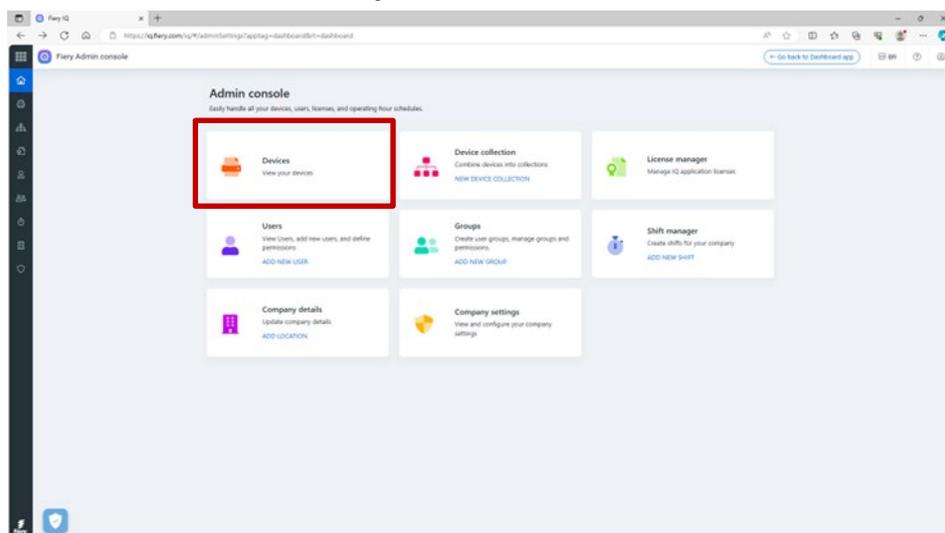
これにより、割り当て済みのライセンスバケットからそのライセンスが解除されて利用可能なライセンスバケットに移り、そこから別のサーバーに適用できます。

**手順2:** 「会社」からのサーバーの解除

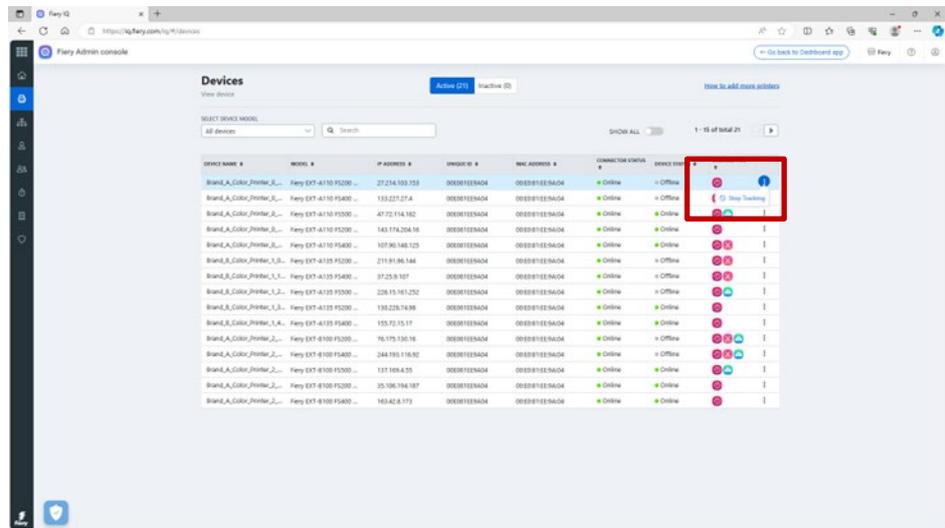
1. Fiery IQ (iq.fiery.com) にサインオンし、Fieryアカウントで認証します。
2. 管理者コンソールに移動します。



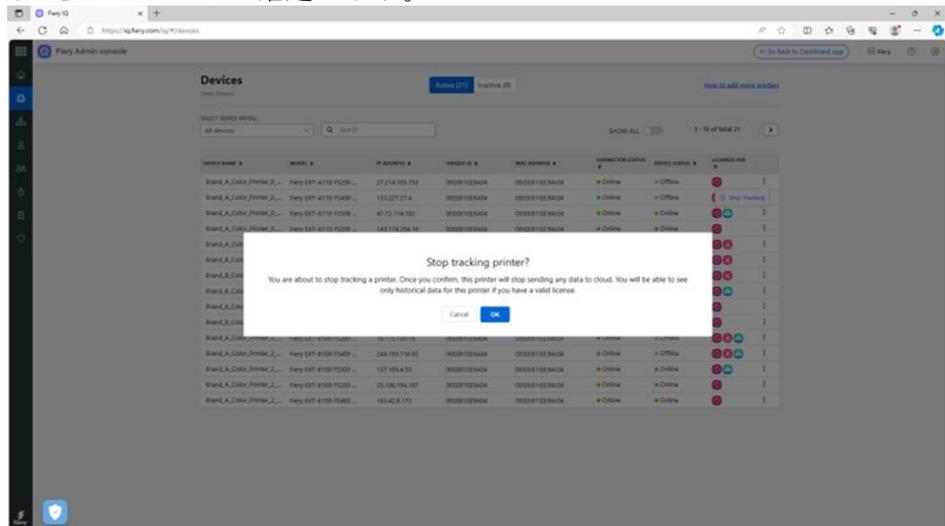
3. デバイスをクリックします。



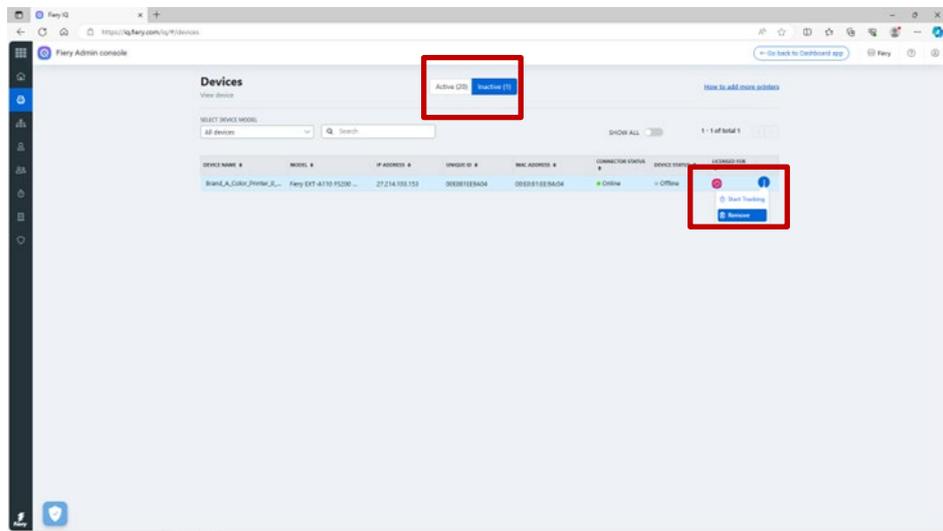
- 解除するサーバーを見つけます。
- 行の最後にあるスリードット (...) をクリックし、トラッキング停止をクリックします。



- OKをクリックして確定します。



- 画面上部の非アクティブタブをクリックします。
- 解除するサーバーの行の最後にあるスリードット (...) をクリックし、解除をクリックします。



## Fieryアカウントのeラーニング

本書によって、Fieryアカウント管理で良いスタートを切ることができたと思います。

また、上記のステップのいくつかを取り上げ、双方向のさらに詳しく説明する無料のeラーニングコースを用意しています。

### Fiery 120: Fiery Account

In this eLearning course, you will learn the basics of Fiery digital print servers, its value in print environments, and the foundational elements of Fiery.

About This Course

Duration

Content

It is important to have an account to authenticate your access to certain features and functionalities of Fiery. With a Fiery Account you can onboard the Fiery servers to Fiery IQ application and backup critical settings to Fiery IQ cloud.

**After completing the modules in this course, you will be able to:**

- Describe the critical functions and features of Fiery Account.
- List the benefits of creating a Fiery Account.
- Explain the process to create a Fiery Account.
- Illustrate the steps to associate a Fiery Account to a company.
- Explain the process of connecting Fiery servers to Fiery IQ.
- Learn the steps to backup Fiery Command WorkStation workspace setting on Fiery IQ cloud.
- Learn the steps to backup Fiery applications license activation codes on Fiery IQ cloud.
- Explain the process to manage the settings of Fiery Account.

次のリンクをクリックして、Fieryアカウントの各eラーニングページに移動します。

<https://learning.fiery.com/courses/fiery-120-fiery-account>

### Roland Campa

シニアプロダクトラインマネージャー  
Fiery, LLC